

会 報

第546号

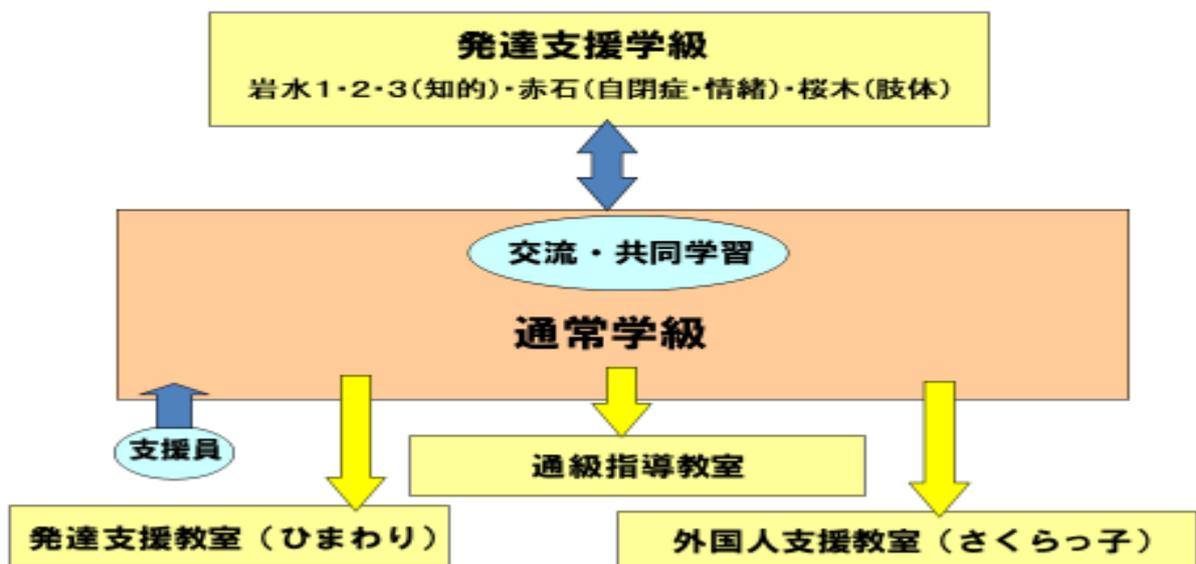
はじめに

本校は、明治5年に創立された大変歴史のある学校です。浜松市の浜北区の北部に位置しています。田畑広がる西・南部の純農村的な風土に加え、近年学区の西に工場群が建ち、新東名も開通し近代化が進んでいます。北部一帯の赤松群生林を生かした県立森林公園には、豊かな自然が保たれています。学区内にある根堅遺跡では約18,000年前と14,000年前の人骨が発見され、「浜北人」と名付けられました。また、史跡や伝説も多く残っており、古い赤佐の歴史がしのばれます。

赤佐小学校の発達支援教育の基本方針

障がいのあるなしにかかわらず、「どの子も安心して、精一杯学び合える学校」をめざし、一人一人の子供理解に努め、個々の教育的ニーズに合わせた授業改善や環境調整・支援の工夫などをチームで行っています。下の図は、赤佐小の校内支援体制です。いろいろな場があります。発達支援学級は5学級、通級指導教室は2教室、そのほかに取出しを行い支援する発達支援教室や外国人支援教室もあります。

校内体制



通級指導教室「にこにこ教室」の紹介

赤佐小学校の通級指導教室（LD、ADHD等）は「にこにこ教室」と呼ばれています。平成20年度の開設から数えて、本年度が13年目になります。現在、「にこにこ教室」には31人（赤佐小学校：9人、他校：22人）の児童が通級しています。他に、取り出し指導、継続相談として17人の児童も通っています。

「にこにこ教室」では、国語・算数を中心とした教科の学習と、ソーシャルスキルトレーニングやコミュニケーションの指導を行っています。

「にこにこ教室」に通ってくる児童にとって、わくわくしながらやってきて、夢中に取り組んで、にこにこして帰ってってもらえるような、楽しくほっとできる場所を心掛けています。

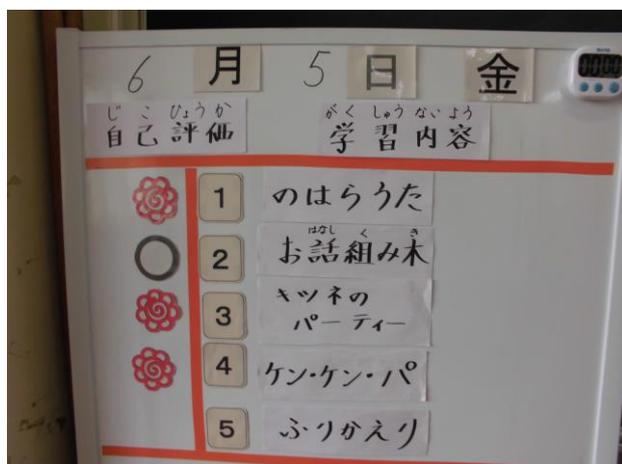
【にこにこ教室の風景】



【活動予定と振り返り】



【めあてと教材の用意】



にこにこ教室では、活動の予定と振り返り、一つ一つの活動をめあてを意識して取り組んでいます。児童が教室に入ってきて、何をするのか事前に分ると安心します。また、活動を終わると、めあてに照らし合わせて、自分の活動を振り返ります。教材も予定の番号に合わせて準備されていますので、学習内容の見通しが立ちます。児童が通常の学級に適応して、「できるようになりたい」「分かりたい」という願いに少しでも多く応えてあげられる教室になれるように、日々努力しています。